



第75期  
事業報告書

2018年4月1日

2019年3月31日



環境計測

医療関連計測

東亜ディーケーケー 株式会社

証券コード：6848

## 株主の皆様へ



代表取締役社長  
高橋 俊夫

第75期事業報告書をお届けするにあたり、株主の皆様には平素のご支援に対し心から御礼申し上げます。

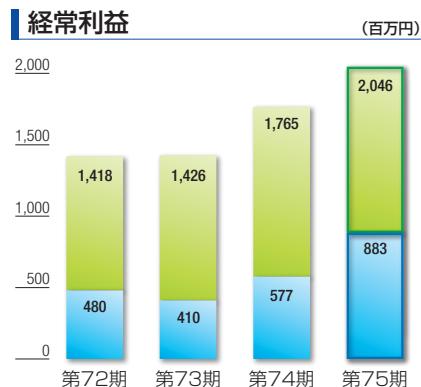
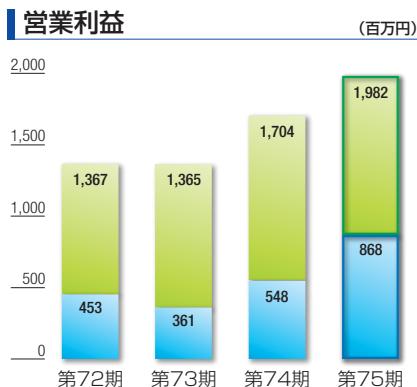
当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな回復基調で推移したものの、貿易問題や海外経済の減速など不安要因も増加し先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、国内では企業の設備投資が堅調に推移する中、計測機器市場の回復が続き、また医療機器市場も拡大傾向にあります。海外におきましても、中国を中心としたアジア地区での環境規制強化に伴い旺盛な需要が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画「第2次HYBRID経営計画」の最終年度として、当初

## 連結財務ハイライト

■ 第2四半期 ■ 通期



の計画を上回る売上と利益の達成を目指し、重点施策を着実に推進しました。国内では水道事業広域化の動きが加速する中、2018年4月にメタウォーター社から譲り受けた水道用水質計をラインナップに加え拡販を強化しました。中国向けには排水モニタリングの需要増加に対応するための生産能力増強と生産効率化を実現するとともに、環境大気分野においても精力的な受注活動を展開しました。また、アジアの大規模展示会へ積極的に出展しブランド力向上に努めました。

利益面におきましては、固定費の増加や原材料コスト増、売上構成の変化による売上原価率上昇の減益要因がございましたが、売上高の増加効果により増益とすることができました。生産性向上、コスト削減など体質強化の

取り組みを引き続き進めてまいります。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は17,548百万円（前期比12.5%増）、営業利益は1,982百万円（前期比16.3%増）、経常利益は2,046百万円（前期比15.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,322百万円（前期比7.5%増）となり、売上・利益いずれも過去最高を達成しました。

ここに永年に亘る株主の皆様の温かく心強いご支援と、お客様、お取引先等全てのステークホルダーの皆様のご支援に改めて厚く感謝申し上げる次第であります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

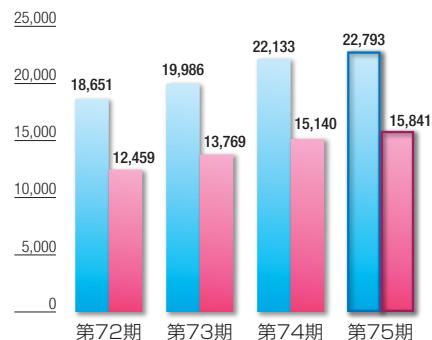
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



■ 1株当たり当期純利益 (円)



■ 連結総資産 ■ 連結純資産  
■ 総資産／純資産 (百万円)



## 分野別売上高の概況

計測機器事業

売上高 **17,289**百万円（前期比 12.7%増）

### ● 環境・プロセス分析機器

売上高 **7,523**百万円（前期比 20.8%増）



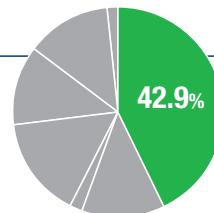
法規制に対応した環境用水質及び大気の監視、安心・安全でおいしい水道水の供給、そのほか水処理を必要とするあらゆる業界の生産・品質管理プロセスに導入されています。

この分野は、基本プロセス計測器、環境用大気測定装置、煙道排ガス用分析計、ボイラー水用分析装置、上下水道用分析計、環境用水質分析計、石油用分析計等であります。

環境用水質分析計において、中国政府の環境規制強化の一環である排水モニタリング装置の設置義務化により輸出が大きく伸びました。また、国内の更新需要も順調に獲得できたことに加え、基本プロセス計測器や発電プラント向けボイラー水用分析装置の販売も伸びたことから、売上高は前期比20.8%増となりました。



全素素・全りん/  
COD自動測定装置



水道水用水質自動測定装置

### ● 科学分析機器

売上高 **2,272**百万円（前期比 13.8%増）



大学や試験研究機関、製造現場、化学、製薬、食品、農業等あらゆる分野の水質測定に使用されています。

この分野は、ラボ用分析機器、ポータブル分析計、医療関連機器等であります。

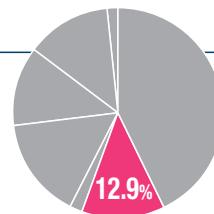
医療関連機器の主要製品である粉末型透析用剤溶解装置は、透析装置システムの主要メーカーに標準採用されており、前年度下期から稼動した新生産棟での新規契約先向け増産分が寄与したことにより、売上高は前期比13.8%増となりました。



卓上型水質計



人工臓腑用粉末型透析用剤溶解装置



## ● 産業用ガス検知警報器

売上高 **317**百万円 (前期比 17.3%減)



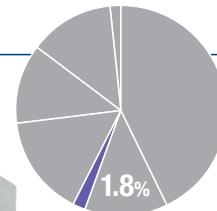
ガス貯蔵場所、製造ラインの可燃性ガスや有毒ガスの漏洩を連続監視し、安全な作業環境を提供しています。

この分野は、バイオニクス機器株式会社が製造・販売する産業用ガス検知警報器であります。

国内での販売が減少し、前期比17.3%減となりました。



毒性ガス検知警報器



## ● 電極・標準液

売上高 **2,297**百万円 (前期比 4.4%増)

## ● 保守・修理

売上高 **2,157**百万円 (前期比 3.9%増)

## ● 部品・その他

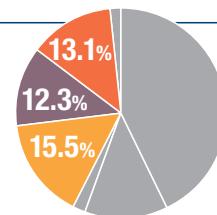
売上高 **2,722**百万円 (前期比 10.7%増)

これらの分野は、環境・プロセス分析機器、科学分析機器の分野における全製品群の補用品類、現地調整・定期点検及び修理、補用パーツ等に該当するものであります。

機器販売の増加に伴い、これらアフターサービス分野の売上高は全体で前期比6.5%増となりました。



電極

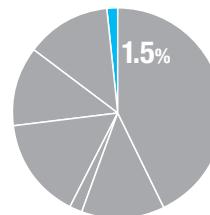


## 不動産賃貸事業

売上高 **258**百万円 (前期比 1.9%減)

東京都新宿区の本社に隣接の賃貸ビル1棟ほかを所有し、不動産賃貸事業を行っております。

当事業の売上高は258百万円となりました。



本社隣接の賃貸ビル

# 東亜ディーケーケーグループの ビジネス・フィールド

「水・大気・医療・ガス」の計測技術を柱に、地球環境の保全と、豊かで人にやさしい 社会環境の実現に貢献しています。

## 大気

### 大気汚染常時監視

PM2.5を始め二酸化硫黄、窒素酸化物など身の周りの大気の汚染状態を監視します。



PM2.5 測定装置

### ゴミ焼却施設・工場

有害ガスの排出を発生源で監視します。



CO/O<sub>2</sub> ガス分析計

## ガス

### 化学プラント

毒性ガスの漏洩をいち早く検知し警報を発することで安全な作業環境の維持に貢献しています。



産業用ガス検知警報器

## 医療

### 医療施設

透析施設で透析治療を支える装置として活躍しています。



生物発光式  
エンドキシン計



A 剤溶解装置

## 水

### 浄水場・家庭

安全でおいしい水道水の供給に貢献しています。



水道水用  
水質自動測定装置

### 河川・海

工場や下水道の排水監視に活躍しています。



全窒素・全りん／COD  
自動測定装置

### フィールド

川や湖での水質測定に使用されています。



ポータブル電気伝導率・pH計

### 研究所・実験室

大学や試験研究機関、生産ラインの品質管理などあらゆる分野の化学分析に使用されています。



卓上型水質計

### 発電所

ボイラーの水質管理を行っています。



ボイラーサンプリング装置

# TOPICS

## 事業拡大と経営安定化に向けて

### 中国の環境規制に対応

当社は、業務・資本提携先であるハック・カンパニーの中国法人HACH CHINAとタイアップして、中国において10年以上前から河川の水質監視用計測器を販売しています。特に2018年度は、中国政府の環境規制に伴い、工場排水モニタリング用の全窒素・全りん／COD自動測定装置（P3に製品写真）の需要が旺盛で、この特需に対応するため、生産能力の増強と生産効率化に注力したことで売上を大きく伸ばすことができました。

中国政府は大気汚染の規制も強化しており、PM2.5の生成物質であるVOC\*の排出規制も本格化が見込まれています。当社は、中国の業務提携会社の技術者を招いた研修の実施や、現地での技術セミナーの開催などを通じた受注活動を展開しており、これからも豊富な実績とブランド力を活かして売上拡大を図ります。

※Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）



第一回日中第三国市場協力フォーラム  
環境技術協力の推進企業として参加



提携会社の技術者を山形東亜DKKに招き研修

### 中国向け売上高推移（単位：百万円）



### 東亜DKKアナリティカを吸収合併 ～もっといいモノづくり～

当社は、連結子会社である東亜DKKアナリティカ株式会社を2019年4月1日付で吸収合併しました。同社は、化学工業や石油精製分野における特殊分析計のシステム設計及び製造を担っておりましたが、本合併により、設計・生産・営業の三位一体となった事業運営の強化を図ります。これからもメーカーとしての基盤をより強固なものとし、最高の品質と世界で戦える性能、コストを兼ね備えたモノづくりを推進いたします。

## 新型イオンクロマトグラフ ICA-7000型を発売

2019年3月に、ICA-2000型の新型モデル「ICA-7000型」の販売を開始しました。イオンクロマトグラフは、環境水質・排水等の水質管理や食品分野の品質管理など様々な分野で使用されている分析機器です。当社のイオンクロマトグラフは1984年の初期モデル発売以来35年の実績があり、進化し続けるお客様のご要望にお応えすべく日々製品開発に取り組んでいます。



本製品は、高感度分析など性能の向上はもとより、幅広いアプリケーションへの対応、機器制御やデータ解析機能の充実など利便性も高め、快適な分析をサポートする多彩な設計コンセプトを盛り込み誕生しました。

本製品の市場投入により当社のコア技術であるラボ用分析機器の売上増進につなげてまいります。

## CSRの取り組み

### 東京都スポーツ推進企業とスポーツエールカンパニーに認定

当社は、スポーツ部活動に補助金を支給し、従業員の運動機会を支援しています。また、生活習慣病予防や運動不足解消の取り組みとして、本社及び事業所に階段利用による消費カロリーを表示したポスターを掲示しています。これらが評価され、東京都より「平成30年度東京都スポーツ推進企業」に、スポーツ庁より「平成30年度スポーツエールカンパニー」に認定されました。



### 高田馬場駅周辺の清掃活動に参加

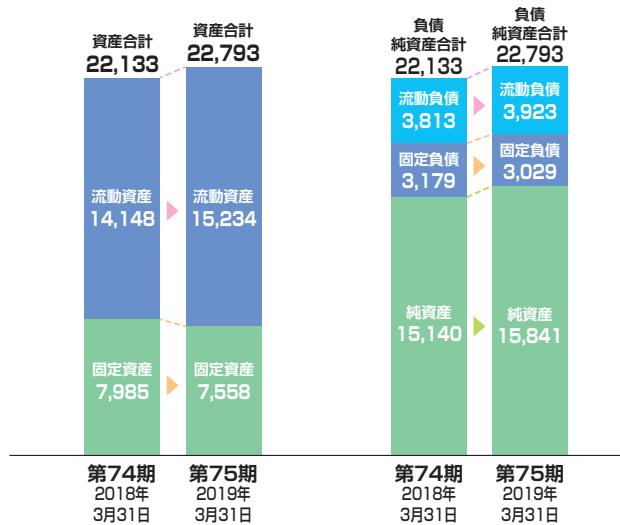
2018年度から、本社のある高田馬場駅周辺地区の「ポイ捨て防止・路上喫煙禁止キャンペーン」に参加しています。このキャンペーンは、地元商店会と住民と行政機関等とが連携し、美化・清掃活動を行うとともに、来街者等にポイ捨て防止や路上喫煙禁止の啓発を行い、きれいなまちづくりへの協力を呼びかけることを目的としています。

2018年度は当社から延べ28名が参加しました。

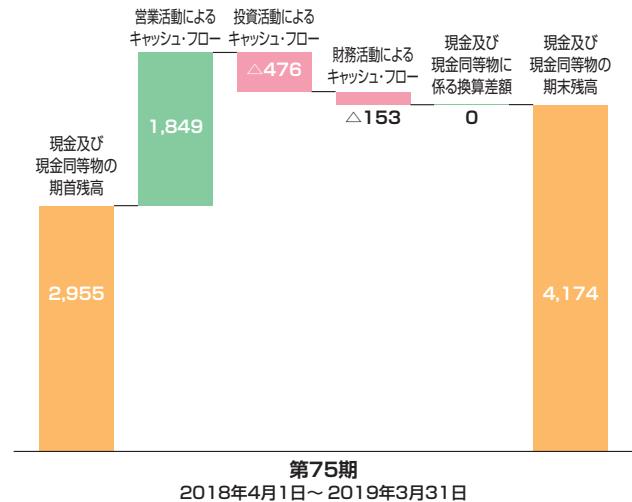


## 連結財務データ

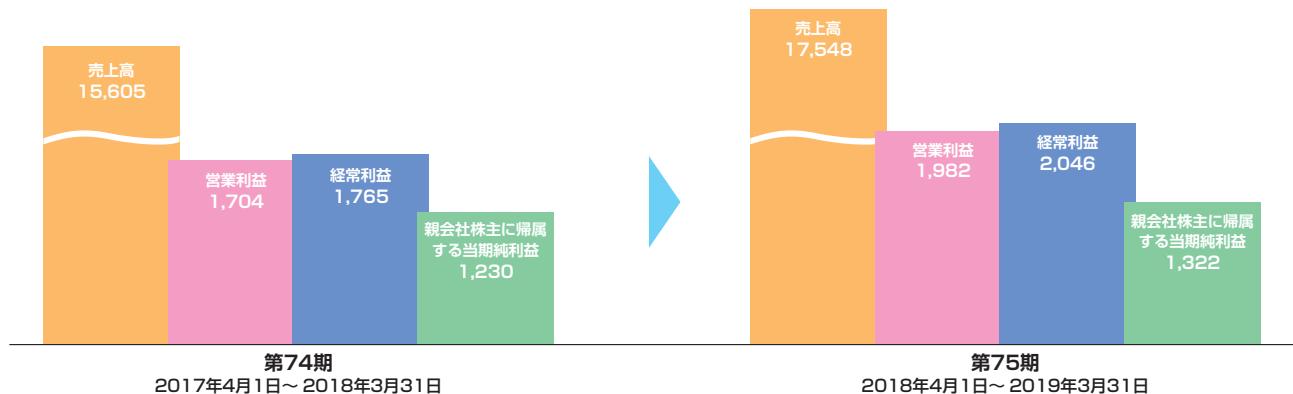
連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第74期	第75期
	2018年3月31日現在	2019年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	14,148	15,234
固定資産	7,985	7,558
有形固定資産	4,771	4,789
無形固定資産	182	84
投資その他の資産	3,031	2,684
資 産 合 計	22,133	22,793
(負債の部)		
流動負債	3,813	3,923
固定負債	3,179	3,029
負 債 合 計	6,993	6,952
(純資産の部)		
株主資本	13,964	14,989
資本金	1,842	1,842
資本剰余金	1,297	1,297
利益剰余金	10,836	11,861
自己株式	△11	△11
その他の包括利益累計額	1,175	851
その他有価証券評価差額金	1,322	977
退職給付に係る調整累計額	△146	△126
純 資 産 合 計	15,140	15,841
負 債 純 資 産 合 計	22,133	22,793

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第74期	第75期
	2017年4月1日から 2018年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売 上 高	15,605	17,548
売 上 原 価	9,279	10,954
売 上 総 利 益	6,325	6,593
販売費及び一般管理費	4,620	4,611
営 業 利 益	1,704	1,982
営 業 外 収 益	68	75
営 業 外 費 用	8	11
経 常 利 益	1,765	2,046
特 別 利 益	1	0
特 別 損 失	7	13
税金等調整前当期純利益	1,759	2,032
法人税、住民税及び事業税	533	701
法 人 税 等 調 整 額	△3	8
当 期 純 利 益	1,230	1,322
親会社株主に帰属する当期純利益	1,230	1,322

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第74期	第75期
	2017年4月1日から 2018年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	995	1,849
投資活動によるキャッシュ・フロー	△823	△476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△442	△153
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額	△270	1,218
現金及び現金同等物の期首残高	3,225	2,955
現金及び現金同等物の期末残高	2,955	4,174

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 大阪にて初めて個人投資家向け会社説明会を開催

当社は、2月25日に日本証券アナリスト協会が主催する「第61回個人投資家向けIRセミナー 大阪開催プログラム」に参加し、沢山の方にご出席いただきました。

当社はこれまで東京にて個人投資家向け説明会を開催してまいりましたが、今回は初めての大阪開催となりました。当社の事業概要やESGの取り組みなどについて、理解を深めていただけたと考えております。

今後も都内及び主要都市での開催を継続し、ファン（安定株主）づくりにつなげてまいります。

なお、当社IR専用サイト「IR情報」で説明会のプレゼンテーション資料がご覧いただけます。

また、個人投資家向け会社説明会の開催日の約1ヵ月前に当社ウェブサイトに開催のお知らせを掲載しております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



### 株主優待制度のご案内

毎年9月末現在の株主名簿に記載された100株以上をご所有の株主様に、社会貢献型寄付金付クオカードを贈呈しております。クオカードをご利用いただくことで、当社から使用額の一部を（公社）国土緑化推進機構が運営する「緑の募金」へ寄付いたします。（株主様には全額お使いいただけます。）

#### ◎株主ご優待の基準及び内容

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	寄付金付クオカード500円分
500株以上1,000株未満	寄付金付クオカード1,000円分
1,000株以上	寄付金付クオカード2,000円分

#### ◎贈呈の時期及び方法

年1回、毎年12月に第2四半期（中間）事業報告書に同封してご送付いたします。



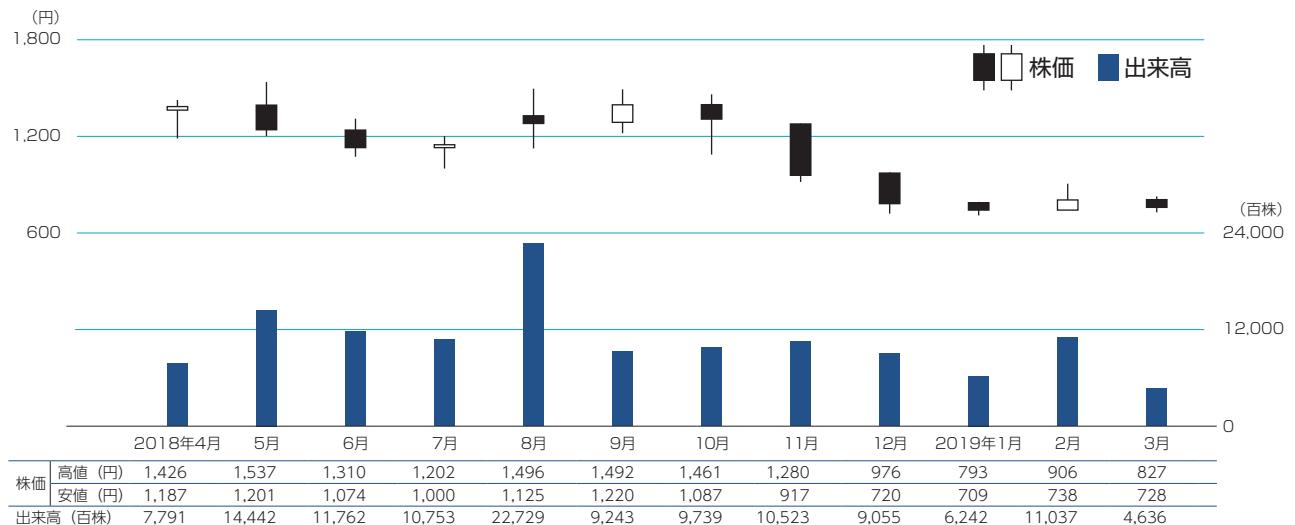
## 株式の状況 (2019年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 50,000,000株
- 発行済株式の総数 19,880,620株
- 株主数 3,965名
- 大株主(上位10名)

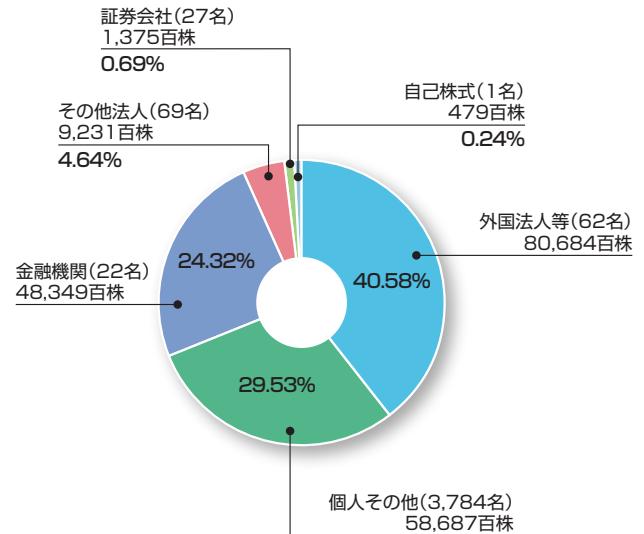
株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
ハック・カンパニー	66,590	33.58
明治安田生命保険相互会社	10,500	5.29
山下直	10,231	5.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,463	4.77
株式会社みずほ銀行	4,625	2.33
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,460	2.25
株式会社三菱UFJ銀行	4,192	2.11
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,919	1.98
バンク・ジュリアス・ペア・アンド・カンパニー・リミテッド	2,640	1.33
東亜ディー・ケー・ケー社員持株会	2,617	1.32

(注) 1. 持株数は、百株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は、自己株式(47,943株)を控除し、小数点以下第三位を四捨五入して計算しております。

### ● 株価及び出来高の推移



### ● 所有者別分布状況(発行済株式の総数に対する割合)



## 会社の概況

- 商号 東亜ディーケーケー株式会社
- 英文商号 DKK-TOA CORPORATION
- 創立 1944年9月19日
- 取締役・監査役 (2019年6月27日現在)

代表取締役社長	高橋俊夫
取締役会長	山守康夫
取締役副社長	玉井亨
常務取締役	赤沢真一
取締役	伊東哲
取締役	中島信寿
取締役	吉田壽
取締役	東海林正男
取締役	丸貞克
取締役	ヘンリー・シー・チャン
取締役(社外)	田中健一郎
取締役(社外)	大野博
常勤監査役	柳下耕一
常勤監査役(社外)	初田忠雄
監査役(社外)	富山恭道
監査役(社外)	米澤廣行

- 資本金 18億4,248万1千円
- 従業員数 (2019年3月31日現在)  
349名(連結630名)
- 執行役員 (2019年6月27日現在)

執行役員	魚次泰介
執行役員	谷山進
執行役員	代見敬一郎
執行役員	高島一幸
執行役員	山岸裕司
執行役員	羽毛田靖
執行役員	内田徹

## ウェブサイトをリニューアルしました。

2019年4月1日から、当社ウェブサイト  
をリニューアルしました。

デザインを一新し、スマートフォンや  
タブレット端末からも使いやすくなりました。  
IR情報、中期経営計画、CSRの取り組み等  
を掲載しておりますのでご覧ください。

URL : <https://www.toadkk.co.jp/>



パソコンサイト  
トップページ



スマートフォンサイト  
トップページ

# ネットワーク

## ● 拠点一覧



- 本社
- 支社・営業所
- 事務所
- 事業所
- サービスセンターまたは関連サービス会社
- 広島営業所
- 山口営業所
- 四国営業所
- 九州営業所
- 長崎事務所
- 狭山テクニカルセンター・開発研究センター・医療関連機器生産棟
- 東京エンジニアリングセンター

本 社	〒169-8648	東京都新宿区高田馬場1-29-10	TEL 03-3202-0211
狭山テクニカルセンター 開発研究センター・医療関連機器生産棟	〒350-1388	埼玉県狭山市北入曽613	TEL 04-2957-6151
東京エンジニアリングセンター	〒207-0022	東京都東大和市桜が丘2-214	TEL 042-563-5551
大 阪 支 社	〒530-0054	大阪市北区南森町1-4-19サウスホレストビル	TEL 06-6312-5100
札 幌 営 業 所	〒001-0010	札幌市北区北10条西4-1-19楠本第10ビル	TEL 011-726-9859
仙 台 営 業 所	〒980-0022	仙台市青葉区五橋2-1-4仙台五橋ビル	TEL 022-723-5734
千 葉 営 業 所	〒290-0038	千葉県市原市五井西2-2-11	TEL 0436-23-7531
神 奈 川 営 業 所	〒220-0021	横浜市西区桜木町5-26-3桜木町日本堂ビル	TEL 045-222-1361
静 岡 営 業 所	〒422-8036	静岡県駿河区敷地2-21-1コーポ汐入	TEL 054-236-0106
名 古 屋 営 業 所	〒460-0022	名古屋市中区金山3-8-18プレアール名古屋金山	TEL 052-324-6335
岡 山 営 業 所	〒710-0824	岡山県倉敷市白楽町593-1亀山総合ビル	TEL 086-423-5181
広 島 営 業 所	〒733-0002	広島市西区楠木町1-9-27第3コーポ大場	TEL 082-297-7370
山 口 営 業 所	〒745-0073	山口県周南市代々木通1-30山陽マテリアルビル	TEL 0834-27-2707
四 国 営 業 所	〒760-0055	香川県高松市観光通2-2-15第二ダイヤビル	TEL 087-831-3450
九 州 営 業 所	〒802-0001	北九州市小倉北区浅野2-1-21 駅西幹線ビル	TEL 093-551-2727
長 崎 事 務 所	〒850-0066	長崎市大浜町846-20	TEL 095-865-0921
ソウル連絡事務所		Room 1210, Seoul Forest IT Castle, 130 Gwangnaru-ro, Seongdong-gu, Seoul, Korea 柳林TECH株式会社内	TEL 010-82-2-6310-6380

## ● グループ会社

山形東亜DKK株式会社	〒996-0053	山形県新庄市大字福田字福田山711-109	TEL 0233-23-5011
岩手東亜DKK株式会社	〒028-0534	岩手県遠野市綾織町みさ崎9地割9-3	TEL 0198-62-5800
アリス東亜DKK株式会社	〒350-1388	埼玉県狭山市北入曽613	TEL 04-2957-7141
バイオニクス機器株式会社	〒207-0004	東京都東大和市清水6-1254-2	TEL 042-565-1200
東亜DKKサービス株式会社	〒207-0022	東京都東大和市桜が丘2-214	TEL 042-563-5643

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
基準日	毎年3月31日（その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。）
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部（証券コード 6848）
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店 プラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行株式会社(※)及び株式会社みずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

**公告方法** 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
公告掲載URL (<https://www.toadkk.co.jp/ir/notification.html>)

**IR情報のご案内** 決算情報などのIR関連情報をタイムリーに提供しておりますのでご活用ください。

**1** トップページ



<https://www.toadkk.co.jp/> ここをクリック!

**2** IR情報



<https://www.toadkk.co.jp/ir/> ここをクリック!

**3** 個人投資家の皆様へ



<https://www.toadkk.co.jp/ir/individual.html>